

φ 48 スモール DN タコメーターキット 12500RPM 取扱説明書

製品番号 05-05-0116

適応車種	CL250 (MC57-1000001 ~)
	CL500 (PC68-1000001 ~)

まえがき

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。ご使用につきましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいませ。お願い申し上げます。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- 取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- 当製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は賠償の責任を一切負いかねます。
- 当製品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- 他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
- 当製品のサブコードを取り付ける場合、一部簡単な配線加工等が必要になります。
- 一度の走行距離が短い場合等、車両のバッテリーに十分な充電が行われない場合こまめにバッテリーの充電を行って下さい。
- 又、保管期間がある場合は、バッテリーマイナス端子を取り外しこまめに充電を行うか、弊社製バッテリーチャージャーで充電を行って下さい。(待機電流でバッテリー上がり原因になります。)
- 取り付け作業は、CL250が主体です。CL500は、サービスマニュアルの手順に従い外装パーツ等の取り外しを行って下さい。

特徴

CL250、CL500 専用のタコメーターキットです。純正メーター横に配置する為、非常に視認しやすいです。付属のサブコードは簡単な配線加工で取り付ける事が出来ます。メーター本体にはφ 48 スモール DN タコメーター (ホワイトLED) を採用しています。指針角度をデジタル信号 & 小型モーターが完全制御。指針保持力が高く、信頼性に優れた構造です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時 (エンジンやマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品破損・ケガの原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

- ◎ 性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎ クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象なりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎ この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 大川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

ご使用上の注意点

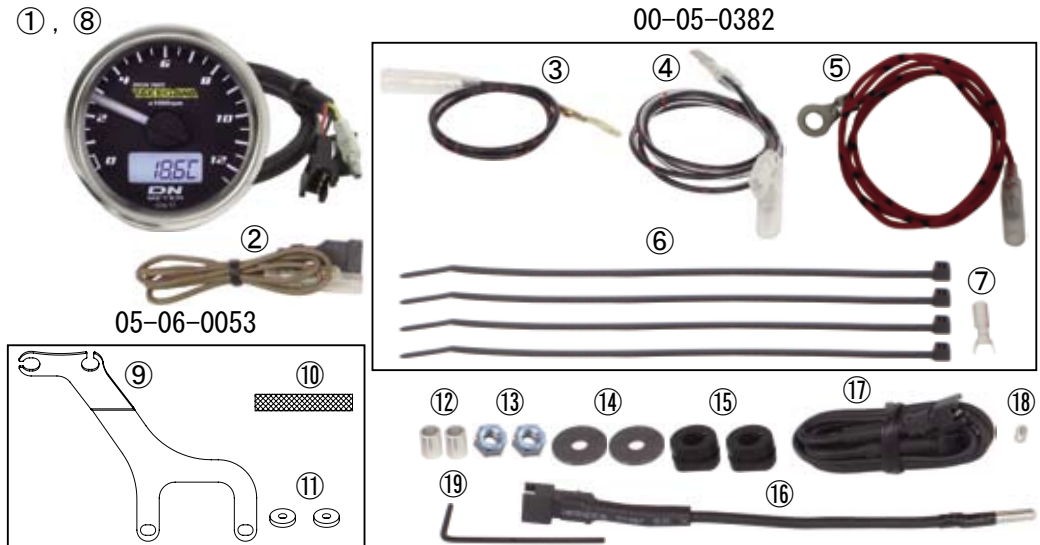
社外品の H. I. D. キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。バラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因となります。社外品の点火装置 (イグニッションコイルやプラグコード) も点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。充電力の不足している社外品の発電装置は、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

[ヘッドライト OFF での走行禁止]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造 (断線させるだけ) によりライト OFF 状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて (光軸も調整して) 下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。洗車時など、メーター底面に直接水を吹付けないように注意して下さい。また、湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番	番号	部品名	個数	リペア品番
1	メーター本体	1		11	スペーサー 5mm/t3.0	2	
2	RPM コード B (550mm)	1	00-05-0371	12	クッションカラー	2	
3	アースコード	1	00-05-0043	13	六角ナット 4mm	2	00-00-0398 (10ヶ入り)
4	電源オプシヨンコード	1	00-05-0189	14	ブレーションワッシャー 4mm	2	00-05-0086 (10ヶ入り)
5	常時電源コード (レッド)	1	00-05-0381	15	クッションラバー	2	
6	結束バンド	4	00-00-0269 (ブラック/10本)	16	スティック温度センサー	1	07-04-0553
7	リセプタクル (ギボシφ 3.5メス)	1	00-00-0270 (5ヶ入り)	17	温度センサー連結コード 900mm	1	07-04-0554
8	メーターメイン配線	1		18	六角穴付止めネジ (イモネジ) M3x5	1	00-00-0480 (6ヶ入り)
9	メーターステー	1		19	L レンチ 1.5mm	1	00-00-0902
10	クッション 15x140x5	1	00-00-0299				

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。※写真にないRPMコード、メーターマウントステーは使用しません。※口で囲っていない製品は、05-05-0083内の物を使用。

▲注意

本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従って作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。



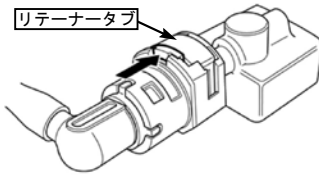
□シートを取り外します。

○イグニッションキーをシートロックに挿入し、時計方向に回しシートを後方に取り外します。

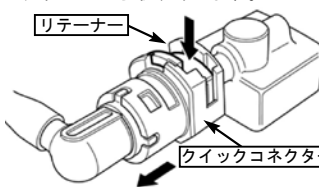


□燃料タンクを取り外します。

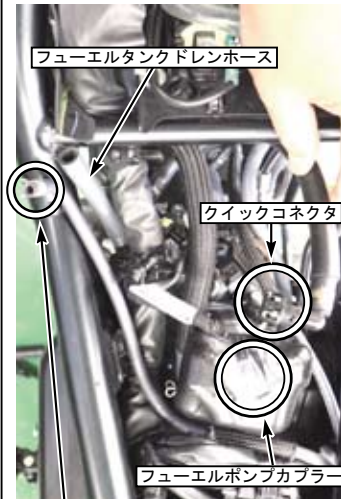
○タンクを固定しているボルトを取り外します。クイックコネクターの接続を外す前にサービスマニュアルを参照し燃圧を抜きます。
○バッテリーのマイナス端子、プラス端子の接続を外します。燃料タンクを持ち上げて支えます。クイックコネクターの周りをウエスなどで覆います。リテーナータブをジョイント方向に押します。



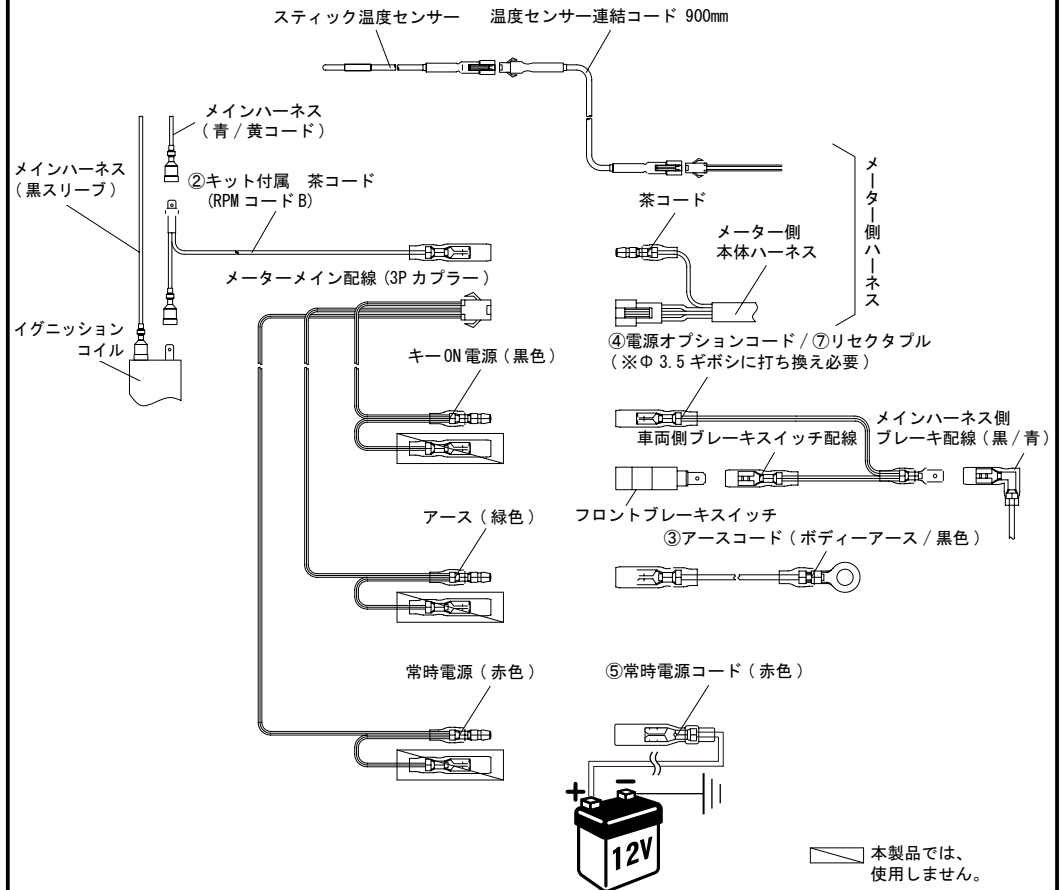
○リテーナーを押し下げた状態にします。クイックコネクタを、燃料ポンプジョイント / 燃料インジェクタジョイントから外します。リテーナーの状態を点検し、必要に応じて交換します。燃料タンクを持ち上げ、燃料ホースを燃料ポンプセッティングプレートのホースクランプから取り外します。



○燃料タンク下の燃料ポンプカブラーを取り外します。
○下記の部品を取り外します。燃料タンクドレンホース、チャコールキャニスタホース、燃料タンク。
※この時フレームに養生テープ等貼り付けフレームが傷付かない様燃料タンクを持ち、後方に少し引きながら取り外します。



配線接続図



※② RPM コード B (茶色) を IG コイル本体に接触しない様に取り回して下さい。タコメーターの指針の誤作動に繋がります。

▲注意

本取扱説明書中のコード色表記は、ベース色 / ライン色としています。黒 / 白という表記のコードは、黒色の被覆に白色のラインが入っているコードを表します。

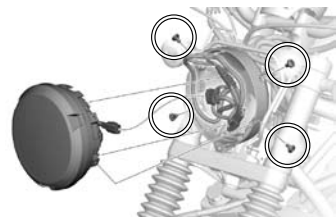
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

□⑨メーターステーの取り付け

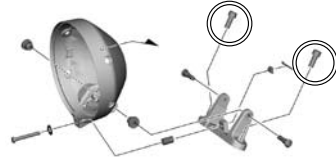
- 車両を安定した状態にして作業を行います。
- クラッチアジャスター部のナットを緩め、クラッチケーブルの上側を取り外します。



- 作業をしやすいとする為、ヘッドライトユニットを固定しているスペシャルボルト 5x10 を取り外し、LR. ウィンカライト 2P カブラ (L. 橙/R. 空) と L./R. ポジションライト 2P カブラをヘッドライトユニットのガイドから外す。



- ヘッドライトケースを固定しているソケットキャップボルトを取り外す。



□ステアリングトップブリッジに

- メーターステーを固定している純正フランジボルト 2 本を取り外します。



- メーターステー、純正メーターステーの順にステアリングトップブリッジの純正フランジボルトで取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
純正フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- 写真を参考にクラッチケーブルを⑨メーターステーの間の箇所に取り回します。

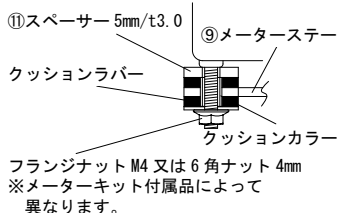


上側から見た状態

□メーターステーにメーター本体を固定します。

- タコメーターキット付属品のパーツを使用し、⑨メーターステーにタコメーター本体、⑪スペーサー 5mm/t 3.0、クッションラバー、クッションカラー、プレーンワッシャ M4、フランジナット M4 又は 6 角ナットの順に、図を参考に取り付けます。
- ※弊社製メーターバイザーキットと同時装着時、**装着状態 2** の○部に⑩クッションを貼り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジナット / 6 角ナット
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



装着状態 1



装着状態 2



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

□⑫ RPM コード B を接続します。

- ※シート / マイナス、プラス端子 / フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。
- 配線図を参考に⑫ RPM コード B を青 / 黄コードに割り込ませ、反対をメーターハーネスの間に接続します。



□常時電源の取り付け作業
⑮常時電源コード (レッド)

- ※シート / マイナス端子 / フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。
- バッテリー端子の (赤) に⑮常時電源の丸端子側を共締めします。

□キー ON 電源の④電源オプションコード組み付け

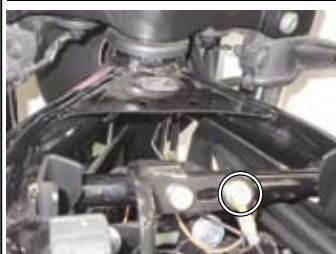
- 配線図を参考に④電源オプションコードのギボシを⑦リセクタブルに打ち換えておきます。
- 配線図を参考にし、フロントブレーキスイッチに入っている黒 / 青のコードを外し、④電源オプションコードを割り込ませ、⑧メーターメインハーネス黒色に接続します。



□⑬アースコードの取り付け

- ※シート / マイナス端子 / フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。
- フューエルタンク下の写真の箇所ソケットキャップボルトを取り外し、⑬アースコードの丸端子部をソケットキャップボルトで固定します。
- ※塗装でアースがしっかり取れない場合は、やすり等を使用し少し塗装を剥がします。

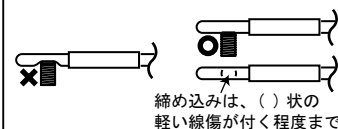
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップボルト
トルク：8.5N・m (0.85kgf・m)



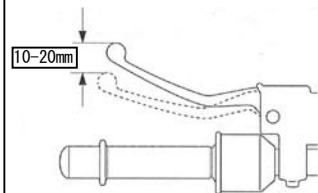
- 配線図を参考にし、⑬アースコード黒と⑧メーターメインハーネスの緑色を接続します。

□⑧メーターハーネスのカブラーを接続します。

- 配線図を参考に、ステアリングを切っても問題ないように⑧メーターハーネスの 3P カブラーをフューエルタンク下で接続します。
- 別途、弊社製ドレンボルトを買い求め頂くとドレンボルト部での温度計測が可能になります。(計測範囲 0 ~ 120°C) 温度センサーを走行風の当たらない箇所固定して頂くと外気温計としてもご利用頂けます。
- ※センサー未接続 (配線が断線) 時は数値が [---. -°C] となります。



- フューエルタンクを逆の手順で取り付け、マイナス端子を取り付けます。
- 作動が問題ない場合は、シートを付けます。
- クラッチケーブルを取り付け、クラッチレバーの遊びを調整します。遊び 10 ~ 20mm
- 微調整はクラッチレバーのアップアジャスターで行います。
- ロックナットを緩め、アジャスターを回します。
- アジャスターを固定した状態で、ロックナットを締め付けます。



- 純正ヘッドライトユニットを分解と逆手順で組み戻します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドライトケースマウントボルト
トルク：22N・m (2.2kgf・m)
ヘッドライトユニット部
スペシャルボルト 5x10
トルク：5.2N・m (0.52kgf・m)

- 組み付け後、光軸が合っているか確認し、必要に応じて調整して下さい。

操作方法 / 各設定を行います。

- メーター本体 [05-05-0083] の取説に従いメーターの設定を行います。

① RPM 信号 設定値 1G (B 接続)

② RPM 信号回数 設定値 0.5

③ RPM 信号種類設定 設定値 1:Hi

- ※①~③は、この設定値にセットして下さい。